

## 2017年春季年会ー女性研究者の会ランチミーティングメモ（奥村さん作成）

日時・場所：2017年3月18日（土）11：30ー12：30 A会場

参加者（わかる範囲）：望月、林、熊谷、奥村（以上、女性研究者の会世話人メンバー）、  
氏原（NICT）、立川（お茶大）、田代（埼玉大）、馬場（東大）、...

### <議論>

- ・テーマ「日本で天文や物理分野で働く女性を増やすには？」より
  - \*話題提供「日本天文学会の女性委員・女性理事の割合と今後について」（望月）
    - ーこれまで男女共同参画委員会が何年か毎に女性割合の統計を報告。  
（全体で12%、学生で20%だが、教員・スタッフで5%。）
    - ー政府の目標は2020年までに指導的地位に占める女性の割合を30%に。
    - ーMinorityの意見が反映されるためには15%以上の割合が必要（心理学的に確立）。
    - ー女性を増やす努力を怠ると数値は直ぐに下がっていくことが（アメリカの学会などで）報告されている。
  - 学会活動など様々な場で女性を増やしていく努力を続ける必要がある。
  - まず学会の委員会委員などで女性をより多く推薦し、（委員会での議論などを通して）社会勉強してもらい、将来理事候補になっていただける方を増やしていく。
    - ー上記は、30～40代研究者のパーマネントポストの問題と密接に関係する（自分の主業務と学会の仕事のバランス）。
- =>キャリア支援の問題

（参考）\*\*\*\*\*（tennetのアナウンス文）\*\*\*\*\*  
日本天文学会の皆様、

来たる九州大学での日本天文学会春季年会で、  
以下の通り「女性天文学研究者の会ランチミーティング」を開催致します。

日時：3/18（土；4日目）11:30-12:30

会場：日本天文学会春季年会 A 会場

この会合は、天文・天体物理に関わる女性を中心として、世代を超えたゆるいネット  
ワークづくりと自由な意見交流・情報交換の場を設けることを目的とした  
集まりです。手軽なランチをご持参の上お集まりください。

もちろん男性の参加も歓迎です。

今回は、自由な意見交流・情報交換の場として特定のテーマは設けませんが、

・(話題提供) 日本天文学会の女性委員・女性理事の割合と今後について (5分、望月)  
意見交換し、

- ・日本で天文や物理分野で働く女性を増やすには？
- ・年齢とともに求められる役割が変わることへの戸惑い
- ・「ワークライフバランス」について身近に相談できる先輩がいない
- ・これってハラスメント？

など、ちょっと聞いてみたい、情報交換したいというテーマをご提供下さい。

違う立場からのテーマも大歓迎です。

関心のある皆さまの参加を心よりお待ちしております。

\*\*\*\*\*

#### 「女性天文研究者の会」

研究者・技術者・科学コミュニケーター・教員・大学院生など、天文・天体物理分野に関わる女性が気兼ねなく集まって、研究・教育を進めていく上での問題等について、意見交換したり、他の方の経験をうかがったり、世代を越えて知り合うことができる場を年会にて提供することを目的に立ち上げた自発的なゆるい集まりです。

世話人：林左絵子（国立天文台ハワイ観測所）、熊谷紫麻見（日大理工）、中道晶香（京産大神山天文台）、望月優子（理研仁科センター）、奥村幸子（日本女子大／担当世話人）

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\* (tennetのアナウンス文) \*\*\*\*\*